



新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの日常生活は様変わりしました。社会状況の変化に、不安な思いをされている方もたくさんおられると思いますが、このような時だからこそ「困っている方の役に立ちたい。元気づけたい」と支援の輪も広がっています。「小さな親切」運動に関わる企業・団体の支援・寄贈活動をご紹介します。

困っている方へ
いち早く

広がる
支援の輪



(右から) 栗田社長・神野副知事・森田県代表

親切運動の会員となってくださいました。

マスク不足が続く中、栗田社長は、「少しでも困っている方のお役に立てれば」との強い思いから、ビジネス上の繋がりがから入手したマスクを愛媛県本部と共にいち早く寄贈し、大変喜ばれました。

地元企業の 技術を活かす

5月13日(水)、千葉銀行(頭取・佐久間英利)は、医療従事者の感染予防に役立ててほしいと、地元企業が3Dプリンターの技術を活用し製造したフェイスシールド8,000セットを千葉大学医学部附属病院へ

4月15日(水)、「小さな親切」運動愛媛県本部(事務局・伊予銀行)の森田浩治代表は、会員企業の株式会社輝城の栗田雅則代表取締役社長と共に、愛媛県庁を訪ねマスク1,000枚を寄贈しました。

株式会社輝城は、テント・シートの総合企業。現在修復工事中の道後温泉本館を、手塚治虫の「火の鳥」が描かれた巨大な素屋根で覆う「ラッピングアート」を手掛けた企業としても知られています。

同社は、「人を大切にする経営」を目指し、長年にわたり、障がい者雇用や刑務所出所者の就労支援など、さまざまな社会貢献活動に積極的に取り組み、伊予銀行が中心となって進める緑化活動「森のあるまちづくり」にも参加。それがご縁となって、



(右から)
佐久間頭取と横手院長



社員総出で念入りに清掃

式会社エヌボシ・ノムラ(建設業/代表取締役社長・野村俊治)は、旅行や外出、イベント等の自粛により、工事の受注が減る中、業務

結柚さん、橋本澤奈さん、入江美緒さんは、休校で部活動ができない期間にマスク100枚を手作りし、敦賀市社会福祉協議会へ寄贈しました。

マスクは、顔にフィットするよう上下にワイヤーを入れ、紐の調節が可能なら、グレーとピンクのリバーシブルで繰り返し使える優れもの。

民生委員の団体、児童施設等に寄贈しました。

LINEで作成した動画の共有し、力を合わせて作ったマスクにはメッセージが添えられ、使用した方に元気を与えています。



上: 敦賀支部より「小さな親切」実行章を贈呈(敦賀高校)
下: マスクに添えられたメッセージ(敦賀市ジュニアリーダーズクラブ)



野球部には「敦賀」という合言葉があり、「敦賀の人が少しでも笑顔になれば」との思いが込められています。

②地域の子ども会と共に活動している敦賀市ジュニアリーダーズクラブの中高生37名は、手作りマスク362枚を保護司会や

の少ない日を活用して地域のためにと、5月14日(木)・15日(金)の2日にわたり清掃活動を実施しました。

清掃場所は、石川啄木が函館に住んでいた際に散策をしていたことでも知られる、大森浜。約1キロの海岸線を15名の社員が念入りに清掃を行い、拾い集めたごみはなんとトラック4台分にも。

同社の野村慎祐常務は、「観光の町・函館にこみが多いと悲しい。私たちの活動を通して、市民の美化意識が高まれば」と語り、一日でも早く函館が観光客で賑わうことを心待ちにしています。

寄贈。「地域に貢献したい」との両社の想いは、医療用具の不足に悩む病院から大変感謝されました。

さらに6月5日(金)には、新型コロナウイルス感染症への対策に役立ててもらうため、500万円を千葉県へ寄附。これらの購入代金や寄附金の一部は、同行の役員からなる「小さな親切」運動ちばぎん支部の募金活動により集められました。

同支部は1966(昭和41)年に設立され、昨年9月、県内で大きな被害のあった令和元年台風15号の後もいち早く寄附を募るなど、長年にわたり地域に根差した社会貢献活動に取り組んでいます。

函館を美しく

全国に先駆けて、緊急事態宣言が発令された北海道。函館市にある株

敦賀の頑張る 中高生二題

①福井県立敦賀高等学校・野球部のマネージャー仲野早智さん、村井

その他寄贈活動

静銀グループ 「小さな親切」の会 (静岡銀行)

従業員が手作りした布マスクや、寄付金を募り購入した使い捨てマスク、消毒液等を福祉施設等へ寄贈。

山陰合同銀行 (山陰本部事務局)

- ①こうぎん一粒の麦の会(役職員の会) 紙製フェイスシールド1万4000枚寄贈。
- ②(一財)こうぎん財団 島根・鳥取県へマスク10万枚の寄贈。

株式会社中海テレビ放送 (山陰本部会員)

鳥取県西部9市町村へマスク3万枚寄贈。

全国各地に広がる “ありがとう”



光のエール

5月20日(水)から6月18日(木)の間、近接する島根県立中央病院へ向け、社屋をブルーにライトアップしエールを送りました。

株式会社中筋組
(島根県・山陰本部会員)



感謝の拍手

毎週金曜日の正午に、医療従事者へ拍手を送る「フライデーオベーション」を行っています。

もみじ銀行(広島県本部事務局)



ブルーインパルスの 感謝飛行

5月29日(金)、ブルーインパルスが都内上空を飛行し医療従事者へエールを送りました。一糸乱れぬ鮮やかな飛行を見るため、同じ空を見上げる多くの人たち。飛行後には都内各所で拍手が自然とわき起こり、感動と感謝の気持ちを共有しました。

**元気なイラストが
感染予防を呼びかける**

工作教室や幼児教育プログラムにご協力いただいている有賀忍先生(板絵画家・江戸川大学客員教授)は、コロナに負けず元気に過ごそうとのメッセージを込めたイラストを寄せてくださいました。

イラストでは、幼児教育ツール「おはなしメリーゴーランド」のオリジナルキャラクター・ハナちゃんとアカチンが手洗いやうがいなどを呼びかけ、WEBサイトよりダウンロードできますので、ご家庭や学校などに掲示して楽しく感染予防に努めてください。



表紙裏のカラーページでは、その他のイラストも紹介しています。
WEBサイト: <https://www.kindness.jp/2020/04/28/stop-corona>

「小さな親切」で幸せを

私は小学校1年生のとき、入院しました。点滴の痛みがつらく、毎晩眠れませんでした。が、看護師さんたちからたくさん「小さな親切」を受け、しんどかった入院生活を乗り切ることができました。

看護師さんにとって、患者の世話をすることは仕事だけれど、人を思いやる気持ちがあるからこそ、一人ひとりに親身になって接してくれるのだと思います。この気持ちがあるからこそ、「小さな親切」は相手にとっての幸せとなり心に響くのです。

この経験のおかげで、私は看護師を目指すようになりました。患者さんに寄り添い、笑顔や幸せを届けられるような看護師になりたいと考えています。夢をかなえるためには、まだまだ足りないことがあります。日頃からもっと「小さな親切」ができるような人になりたいです。みんなが心に余裕を持ち、周りの人に気を配れるようになれば、私たちの生活はもっと豊かなものになるはずです。(抜粋)

(入選/愛媛県 中学3年 山口望来)



心からの
笑顔や
感謝を
届けよう

422人と 「明るいほうへ」

シンガーソングライターのちひろさん(山口県・個人会員)は、自身が作曲し歌う金子みすゞの詩「明るいほうへ」にのせて、笑顔の写真が紹介される動画を制作しました。

『明るいほうへ』 みんなで乗り越えよう! プロジェクト」と題した動画には、新型コロナウイルスに負けない、明るい気持ちを発信しよう!との趣旨に賛同した422名が次々と映し出され、明るい笑顔と元気を届けています。動画は、ちひろさんの公式サイトやYouTubeチャンネルなどで公開しています。



右:動画を制作したちひろさん
左:全員が同じメッセージを掲げる



医療従事者のみなさんありがとう

病気で不安だからこそ、お医者さんや看護師さんがかけてくれた言葉に励まされた経験をお持ちの方は多いことでしょう。体や心の痛みを知っているからこそ、人に優しくなれる。子どもたちの心に響いた体験を綴った
平成29年度(第42回)作文コンクール入賞作品をお届けします。

見えない親切

僕は小さいころから、決められた日に病院へ通っています。その病院で、僕のお母さんは働いています。ある日、お母さんが病院のろうかで、車いすに乗ったおばあちゃんの手をにぎり、床にひざをついて目を合わせながら、やさしい笑顔で話をしていました。「少し寒い」というおばあちゃんの手で足をさすり、車いすをエレベーターまで押してあげるお母さん。でも僕は、診察の順番に間に合わなくなるかもしれないとあせって、お母さんに文句を言いました。すると、お母さんはおこった顔で、「順番より大切なことがあるのよ。あのおばあちゃんはおうちで一人で住んでいてお話をしてくれる相手がないの。だから、少しでもさみしくないようにしてあげたいの」と言いました。

僕は、お母さんがしたことをよく考えてみました。そして、目に見えることだけではなく、見えなくてもしてあげられる親切があるということ、教えてもらった気がしました。お母さんはいつも、「相手の気持ちになつて、思いやりのある行動をしよう」と言います。僕もお母さんの言葉を忘れず、友達や周りの人を笑顔にできる人になりたいと思います。(抜粋)

(優秀賞/神奈川県 小学校5年 横山遥大)

